

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	13 人	人	人	15 人

前回の改善計画
身体状況や日常生活について、職員個々に得た情報をミーティングノートで情報共有し、統一した支援が出来るよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
情報共有に関して、細かい事もミーティングノートや日誌にて記載し全職員がしっかり把握できるようにしているが、言葉足らずだったり記載漏れもあり、支援にバラつきが見られる場合がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	10	1		15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	9	2		15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	8	1		15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	11	2		15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事前にご利用者・ご家族からお聞きした情報を、ご利用になる前に職員が把握出来るよう (現在の状況・生活歴・家族構成等) 書類にて提示している。 利用開始時はご利用者が落ち着ける環境作りや、他者との関わりの中で安心して過ごせられるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用当初の中で変化があった場合に、職員間での情報共有が出来ていない事があり、支援の方向性やニーズの把握にバラつきが見られることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員間での情報共有を確実にし、ご利用者のニーズ・現在、過去の状況を把握し安心できる初期支援を行えられるよう努める。細かい内容もミーティングノートや職員会で情報を共有し、支援の方向性にバラつきがないようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12人	3人	人	15人

前回の改善計画
自分の担当からじっくり観察し、周りの職員からアドバイスをもらいながら、毎月の記録用紙に具体策を記入する。

前回の改善計画に対する取組み結果
ゆとりを持った支援が出来ていない時がある為、ご利用者の「～したい」の実現が困難な場合がある。具体策は、さまざまなアドバイスの中から引き出せている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	9	3		15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		13	2		15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		10	5		15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	9		15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
～したいに向けての支援は、他職員からもアドバイスをもらい行っている。
その時の様子をケア記録に記載し、担当職員だけでなく、全体で把握出来るようにしている。
ご利用者の生活歴や興味のある事を引き出し、その人らしさを出せるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者の興味のある細かい部分まで把握が出来ておらず、職員間で支援や捉え方にバラつきがある。
細かい事の情報共有が出来ていない。
ゆっくと関わり合いを持った支援が困難となっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ゆとりを持った支援を行い、職員から出ている具体策を実行し、ご利用者の「～したい」に繋げる。
日々の変化の中で気付いたことを情報共有し、支援に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	2 人	人	15 人

前回の改善計画	ケアマネからの情報、又、送迎時の家族より自宅での様子を聞き取る。 サービス中に利用者に関わり合いを多く持ち、密な関係作りを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネからの情報やご家族からの情報を共有出来るよう、ミーティングノートにて周知しているが細かい 内容は共有出来ていない時がある。ゆっくりとご利用者に関わる事が困難な時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	11		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	9			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	6	6		15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	7			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	11			15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者に合わせた対応や、体調や気持ちに変化があった時は看護師・ケアマネ・管理者に報告し素早い対応が出来ている。 ご本人・ご家族からの要望や意見はミーティングノートや、職員会で共有している。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らしを把握出来ていない部分がある為、日常生活の細かい所がわからず支援の中で戸惑ってしまう事がある。 ご本人の声にならない声を把握する事が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ご本人・ご家族から現在・過去の詳しい情報をお聞きし、それを職員間で話し合いご利用者の想いに応えられるように努める。 ゆとりある関わり合いで、小さな変化にも気付けるようにし個々の支援へと繋げる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	5 人	4 人	1 5 人

前回の改善計画
職員が地域行事に参加し、地域の方々と交流する事で、地域資源の理解を深め利用者へ働きかけていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域行事には参加させて頂いているが、ご利用者個々の地域資源を詳しく把握出来ていない為、地域資源を活かしきれていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	8	5	1	1 5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		9	5	1	1 5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	3	3	1 5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	7	4	1 5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
季節の地域行事に参加させて頂き、地域の方々と交流を図らせて頂いている。
ご利用者個々の昔からの地域との繋がりを把握し、地域との繋がりを継続出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者全員の地域との繋がりを把握出来ていない為、民生委員や地域資源を活かせられていない。
事業所と接していない時の様子は、ご家族からの情報のみで詳しい過ごし方が把握出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ご利用者個々の地域資源や生活暦のアセスメントを行い、職員間で話し合うことにより、必要な地域資源の活用を行い在宅生活を支える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川真・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	4 人	6 人	1 5 人

前回の改善計画
地域資源を理解する為、利用者を取り巻く人・物を書き出し、整理してみる。

前回の改善計画に対する取組み結果
前回の改善計画内容を細かく実行出来ていない為、再度個々の取り巻く環境を整理していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		9	3	3	1 5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	8			1 5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	1 0	1		1 5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7	3		1 5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者のその時の状態に合わせた柔軟なサービスを提供出来ている。
ご本人の変化や状態を把握出来るよう、ミーティングノートや職員会で検討出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご利用者の地域資源を把握しきれてない所がある為、地域資源を活かした支援に欠けている。
職員が地域の特徴を把握出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ご利用者個々を取り巻く地域資源や人・場所等を再度職員間で検討し、個々に合った地域資源でサポート出来るよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月30日(18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	7人	4人	1人	15人

前回の改善計画	これから参加努力をしていく。又、職員会において、勉強会等参加職員による報告を行い、理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域との関わりが減少傾向にある。管理者・ケアマネが会議に参加した内容は周知している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		5	4	6	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	3	11	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	5	1	8	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		12	2	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域のイベントへの参加や、地域の子供たちが来荘しご利用者との交流を図っている。ケアマネにより、医療や福祉用具との連携は図れている。会議を行った内容は、ミーティングノートや職員会にて周知している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
管理者・ケアマネは地域や医療との会議に参加しているが、他職員は参加出来ていない。地域との活動や関わりが少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
管理者・ケアマネ以外の職員が会議に参加し、理解や知識を深められるよう努める。地域との交流が減少傾向なので、ご利用者の地域資源を把握し、地域との交流を深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年11月30日(18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	3人	8人	15人

前回の改善計画	運営推進会議はこれまで通り、ご家族全員に案内し、職員においても出来る限り参加し、地域の方々との交流に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議では、決まった職員が参加となっている為、他職員が参加出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	2	7	5	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	2	3	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2	5	6	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	5	5	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者・ご家族からの意見はすぐ管理者・ケアマネに報告し、運営に繋がられている。 事業所の夏祭りや、秋祭りでは地域の方の協力を頂き取り組んでいる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 運営推進会議には決まった職員しか参加出来ていない。 職員が地域の方々との交流する機会が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 決まった職員だけでなく、他職員も運営推進会議への参加や地域の方々との交流を深められるよう努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	4 人	2 人	4 人	15 人

前回の改善計画	研修会や資格取得の為に得た知識が現場で活かせるよう、個々で知り得た知識を職員会で報告する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修や資格取得後は、職員に周知出来るよう職員会にて報告を行い、日ごろの業務の中で意識出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	6	2	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	5		5	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	2		12	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	10		1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内では月に 2 回の職員会を行い、法人内の研修や地域密着型協会の研修の参加をし、職員会で報告を行い周知している。 職員個々のスキルアップの為に、資格取得や研修参加を行っている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会には参加出来ていない。 地域の方々との会は運営推進会議のみとなっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 個々が更にスキルアップを目指し、資格取得や研修会への参加をし職員全体で意識統一していく事によりサービスの質の向上に努める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 30 日 (18 : 00～20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 石川大・秋山・森田・尾藤・児島・大西佐・白石・大西香
由藤・佐藤・吉岡・石川眞・兵藤・菰田・寺尾

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	11 人	1 人	人	15 人

前回の改善計画	言葉がけが不十分で、個々の関わり合いが十分出来ているかどうか疑問である。 接遇において職員間でも意識し、利用者に対して節度ある行動に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	接遇においては、常に意識しその都度周知している。 職員会では毎月接遇について再確認をしている。個々の関わり合いの中で、細かい丁寧な態度が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	3			15
②	虐待は行われていない	15				15
③	プライバシーが守られている	9	5	1		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している			2	13	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13	2			15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修や勉強会の参加で身体拘束や虐待を詳しく学ぶことにより、行われていない。 入浴・排泄時は特にプライバシーに配慮出来ている。 個人情報の管理は、しっかり行われており、職員会の際にも再度周知している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度を活用されている方がいない。 職員同士の会話の声が大きくなり、ご利用者の内容が周りに聞こえてしまっている時がある。 職員の声掛けでご利用者の動きを止めてしまっている時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 身体拘束・虐待・プライバシーは今後も研修や勉強会に参加し意識統一していく。 職員個々が接遇を意識し、ご利用者との関わりの中で身体拘束や虐待に繋がらないよう努める。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛美会	代表者	石川 繁一	法人・事業所の 特徴	四国中央市川之江地区にある唯一の小規模多機能型居宅介護事業所で、特別養護老人ホームが併設された複合施設となっている。地元の利用者が多く、昔からある恒例行事を季節毎に取り入れ、理念である「ゆっくり・一緒に・楽しく」に添った支援を行っている。また、生活上のリハビリを取り入れ、身体機能の維持に努めている。ライフサポートプランを活用し、利用者の生活史を踏まえた支援となる様、コミュニケーションを大切にし、個々の関わりを深めている。職員は、研修参加や資格取得に前向きで、サービスの向上に繋がっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 山田井の郷	管理者	石川 大紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	5人	0人	2人	0人	0人	2人	0人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も、スタッフ個々が勉強会等に参加し、レベルアップを図り質の向上に繋げる。	スタッフが勉強会に参加したり、研修に参加し、それを職員会で意識統一しているが、介護技術においてはまだ技術向上が必要であり、介護の知識を深める為に今後も定期的に勉強会等を行う。	介護現場を見る機会がない為、どのような環境でどのようにご利用者が過ごしているか、職員の様子はどうか見てみたい。勉強会の意識統一は今後も大切である。	研修や勉強会で得た知識を職員会で全員に意識統一し、職員の知識を深めスキルアップを行い、サービスの質の向上に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	1Fホールで運営推進会議を開催している。時には室内を見て頂く機会を作る。	運営推進会議は開催しているが、事業所内や室内を見て頂く機会をほとんど持っていない。事業所内でもご利用者がどのように過ごされているか、環境を見て頂く機会を設ける必要がある。	委員さんが事業所内を見る機会がない為、詳しく内容がわからない。運営推進会議の報告や意見交換する事はあるが、中を詳しく見学したい。	運営推進会議の時に事業所内や室内の様子や環境を見て頂き、ご家族や地域の方が入りやすい環境を整える。
C. 事業所と地域のかかわり	特養と併設されており、小学生の社会見学、又各種団体の慰問もある。今後も交流の幅を広げたい。	小学生や各種団体との交流は図れているが、いつでも気軽に来ていただける場所としての定着は出来ていないように感じる。気軽に来て頂けるよう環境作りや、関係作りが必要である。	いつでも気軽に来れる場所も良いが、目的があって来る方が来やすいと思う。今以上にイベントや行事を計画して、小学生や地域の方々来られる機会を作ってはどうか。	目的を持ったイベントを開催し、事業所にて地域の方々と交流を図れる機会を設ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	既存の行事に関しては、これからも出来る範囲で参加。クローケーや手芸教室、サロンに参加。利用者個々が地域の方々と交流出来る様サポートしていく。	地域の行事には地域の方々のご協力で開催させて頂いているが、ご利用者個々の地域との繋がりが難しく、把握出来ていない部分がある為、まずは地域資源を理解しなくてはならない。	地域の行事は様々なものがあるので、季節によってご利用者が参加出来るが良い。職員が地域に出て、更に地域の方々との交流を深め、地域の行事について知る必要がある。	現在参加させて頂いている行事には継続して参加させて頂き、ご利用者個々の地域資源を把握し、地域との交流に繋げる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議開催時には、メンバーの方以外も参加出来る様な内容を加え、地域の方々との参加を呼び掛ける。	運営推進委員の方のみ参加となり、毎回健康教室等を行っているが、委員の方以外の地域の方の参加に繋がっていない為、気軽に来て頂ける内容での開催や交流を図りたい。	地域の方々が気軽に来られる内容を運営推進会議の中で行い、委員さん以外の方も参加しやすいよう検討してはどうか。	運営推進会議の中で、地域での困り事や相談が出来る時間を設ける。運営推進会議での意見を改善に繋げる。
F. 事業所の防災・災害対策	四国中央市では防災ハザードマップがあり、目のつく所に置いておき、災害に備え訓練に参加する。	定期的な消防訓練には参加しているが、地域の方々との合同の訓練は行っていない。地域の特徴を知り、災害時や緊急時に備えての防災訓練が必要である。	地域の特徴を知り、地域と一緒に防災訓練をする必要がある。避難場所や避難経路を詳しく知らなくてはならないし、地域との繋がりを大切にしなければならぬ。	運営推進会議の中で防災をテーマにした内容を取り入れ、事業所の防災計画を地域の方々に知って頂き、地域の特徴や災害時の対応を地域の方と一緒に取り組む。